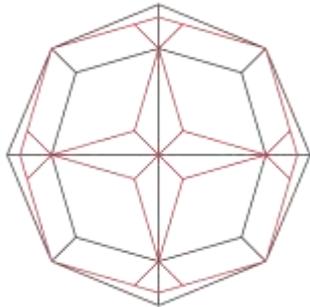


## A.Sharp の立体(6)

中川宏

シャープの立体 No.6は、24枚の菱形と24枚の扇形からなる48面体である。すぐに思い浮かぶのは、シャープの立体 No.2の扇形24面体(下図黒線)の扇形の長い対角線を残した菱形をつくるように赤線部分を切り取る方法である。



ところが、シャープの設計通りに投影図をおこしてみると驚くべき美しいプロポーションが明らかとなった(下図左の丸印)。1 : 3 : 4 : 5。まるで和算家と見まごうばかりの整数比が現れたのである。扇形24面体から変形したのではこのようにはならない。しかもシャープはこのような工夫を言葉で表してはいない。設計図を解読するものだけにわかる謎として遺したのである。

### Sharp's solid No.6(24 rhombs and 24 semi-rhombs)

